

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書											
令和5年 5月23日											
栃木県知事 福田 富一 様											
提出者 栃木県小山市大字神鳥谷 2251 番地 1 住 所 地方独立行政法人 新小山市市民病院 氏 名 理事長 島田 和 幸 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0285-36-0200											
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。											
事業場の名称	地方独立行政法人 新小山市市民病院										
事業場の所在地	栃木県小山市大字神鳥谷2251番地1										
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日										
当該事業場において現に行っている事業に関する事項											
①事業の種類	病院 [8311]										
②事業の規模	300床										
③従業員数	785人(令和5年4月1日現在)										
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="text-align: center;"> <table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">発生源</td> <td style="padding: 0 20px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">廃棄物</td> <td style="padding: 0 20px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">処理・処分</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">病棟 診療部門 薬局</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">感染性廃棄物等 200.09 t/年</td> <td></td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">焼却施設 200.09 t/年</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 廃棄物処理の流れ 委託処理部分の範囲 </p> </div>	発生源	→	廃棄物	→	処理・処分	病棟 診療部門 薬局		感染性廃棄物等 200.09 t/年		焼却施設 200.09 t/年
発生源	→	廃棄物	→	処理・処分							
病棟 診療部門 薬局		感染性廃棄物等 200.09 t/年		焼却施設 200.09 t/年							

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油・廃酸
	排 出 量	199.48 t	0.61 t
	(これまでに実施した取組) 感染性廃棄物と一般廃棄物の分別の徹底		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油・廃酸
	排 出 量	193.5 t	0.59 t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物と一般廃棄物の分別の徹底		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物と一般廃棄物の分別の徹底

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油・廃酸
	全処理委託量	199.48 t	0.61 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	199.48 t	0.61 t
(これまでに実施した取組) 感染性廃棄物と一般廃棄物の分別の徹底			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油・廃酸
	全処理委託量	193.5 t	0.59 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	193.5 t	0.59 t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物と一般廃棄物の分別の徹底		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	200.09 t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

管理産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項

管理体制

統括責任者		所属: 地方独立行政法人新小山市市民病院 職・氏名: 病院長 島田 和幸
廃棄物管理責任者		所属: 事務部総務課施設管理係 主任
廃棄物管理担当		所属: 事務部総務課施設管理係 組織人数: 計4名
役割	廃棄物処理 統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 感染性廃棄物管理規程の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 職員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項

管理組織図

